



★Contents(主な内容)★

- ☆ 「災害に強いまちづくりに向けて」セミナー報告
- ☆ 「Twitterで話題のカリスマ保育士 てい先生にきく」セミナー報告
- ☆ 特集：LGBTを知っていますか～平成29年度アンケート結果より
- ☆ さざなみインフォメーション

第2回 成田市男女共同参画セミナー

働くママパパ応援講座

～Twitterで話題のカリスマ保育士 てい先生にきく～

講師：現役保育士 てい先生



てい先生のお話にて会場中が引き込まれました（第2回男女共同参画セミナー）

◆第3次成田市男女共同参画計画
成田市DV対策基本計画 基本目標

- ①人権を尊重する男女共同参画に向けた意識づくり
- ②仕事と家庭を両立できる環境づくり
- ③男女共同参画を取り入れるための仕組みづくり
- ④生涯を通じて安全・安心を実感できる地域づくり
- ⑤暴力を許さない社会づくり

No. 48
成 田 市
2018年11月発行

災害に強いまちづくりに向けて ～男女共同参画がキーワード～



平成30年6月23日(土) 10:30～
第1回男女共同参画セミナーを開催しました。
いつどこで起こるかわからない大規模災害。
あらゆる人が安心して過ごせる避難所の設営や運営について伺いました。



埼玉県男女共同参画推進センターWithYou さいたま事業コーディネータ 瀬山 紀子さん

実際の災害事例を通し、老若男女の災害時要援護者(災害弱者)、あらゆる人が安心して過ごせる避難所の運営や備え等について、具体的に(トイレや着替えなど)わかり易く教えていただき、参考になりました。

- ◎ 平時から、減災や災害時の情報弱者を想定して、具体的な行動につなげることが大切。
- ◎ 高齢者・障がい者は、より大きな被害を受けやすい。
- ◎ 在宅避難者の支援、託児・託老支援の重要性
- ◎ 地域と行政との連携の必要性 など

講話終了後には、成田市危機管理課から、市の取り組み(地域防災計画)について説明があり、参考になるものでした。

最後は、聴講された皆さんから、意見や質問が出され、皆さんの防災への関心の高さを感じました。
(渡辺推進員)

♪参加者の声♪

成田市男女共同参画セミナー
災害に強いまちづくりに向けて
～男女共同参画がキーワード～
講師:埼玉県男女共同参画推進センター With You さいたま事業コーディネータ 瀬山 紀子さん

自己紹介

- ・埼玉県男女共同参画推進センター事業コーディネータ
 - ・東日本大震災女性支援ネットワークの立ち上げから現在まで、世話人として関わる。現在は議員と男女共同参画推進センターとを連携して活動継続している。
 - ・高橋大学社会福祉学専攻専攻講師(ジェンダー福祉)
 - ・日本女性障害者ネットワーク 障害者自立生活センターの会助成員
 - ・1995年阪神淡路大震災、神戸在住時にUIC(ユニコム)への物資提供等の緊急支援、留滞住宅訪問支援活動への参加
- 目指していること



地震の起こる可能性のある現在、災害に強いまちづくりの重要性を感じました。

大変有意義な講義でした。具現化・地域間格差の是正等、まだまだ自治体の役割は大きい。



過去の地震や災害の教訓を生かし、自分が何を出来るのか、家族でよく話し合いたいと思います。

LGBTを知っていますか



～13人に1人はLGBTとされています～

LGBTとは、性的少数者の総称の一つです。戸籍上の性別は男性と女性のみであり、婚姻の相手は異性のみとされていますが、個人の性には多様性があり、単純に分けられるものではありません。

近年、LGBTであることを表明する人の割合が増えてきています。

- L……レズビアン(女性の同性愛者)
- G……ゲイ(男性の同性愛者)
- B……バイセクシュアル(両性愛者)
- T……トランスジェンダー
(体と心の性の不一致)

働くママパパ応援講座

～Twitterで話題のカリスマ保育士 てい先生にきく～

平成30年7月21日(土) 13:30～
第2回男女共同参画セミナーを開催しました。
カリスマ保育士てい先生に、今までの常識にと
られない子育てについて伺いました。



現役保育士 てい先生

講師のてい先生は冒頭、保育士歴11年目、31歳で独身と自己紹介してくださり、若さとエネルギーに満ちた雰囲気で見始めました。

保育士業務の経験エピソードを具体的に紹介したり、講演の随所にクイズやゲームを取り入れて、参加者全員を取り込んで巻き込み、いつのまにか会場を魅了していました。

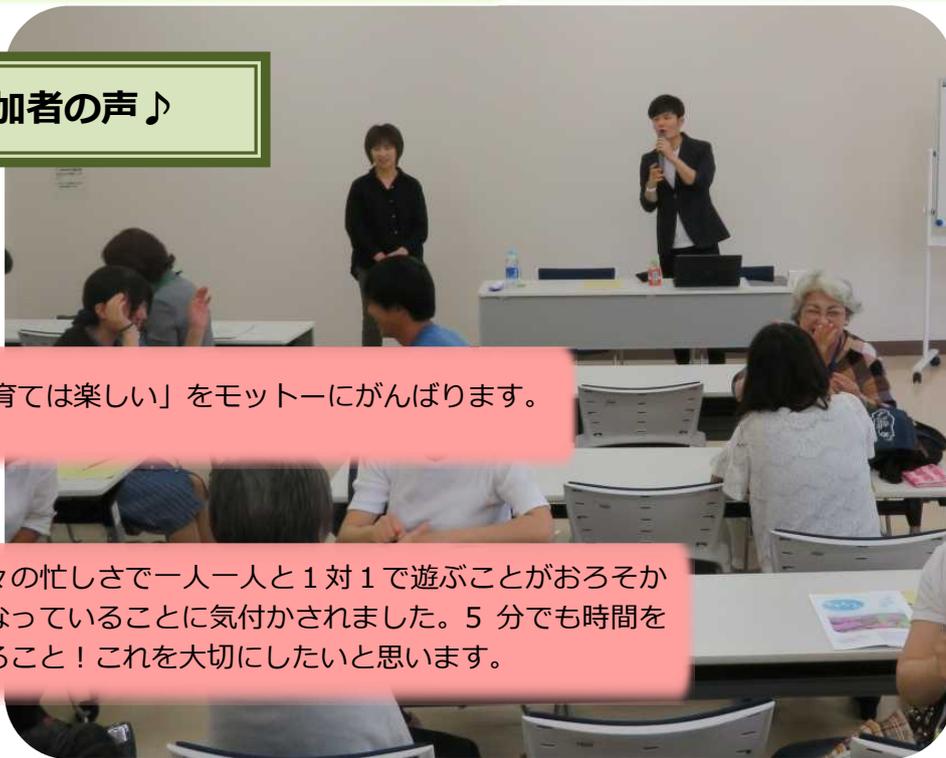
◎子育ては、家庭で両親がお互いに話し合う時間を持つことが大切。

◎女性と男性では我が子に対する感覚が大きく違うことを認識し、ママはパパが子育てに関わってもらうために少々の失敗は許容することが必要。

◎特にパパは子供とだけ遊ぶ時間を持つこと、短くても質の高いスキンシップの時間が大事。先生は、子育てを楽しんで欲しいのでツイッターは続けていきたいとおっしゃいました。

私は、20年後にまた先生の講演を聴いてみたいです。
(塩澤推進員)

♪参加者の声♪

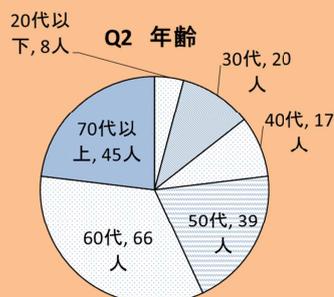
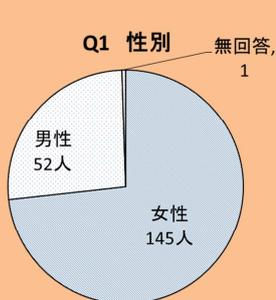


「子育ては楽しい」をモットーにがんばります。

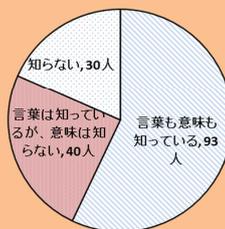


日々の忙しさで一人一人と1対1で遊ぶことがおろそかになっていることに気付かされました。5分でも時間を作ることに！これを大切にしたいと思います。

男女共同参画講座では、平成29年度に開催した全5回講座の参加者にLGBTに関するアンケートを行いました。



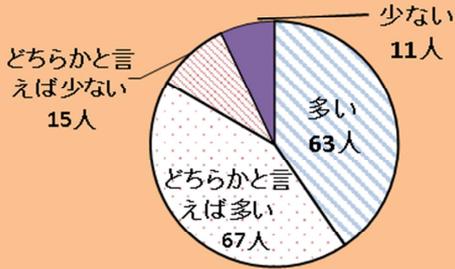
Q3 「セクシュアルマイノリティ」または「LGBT」という言葉を知っていますか？



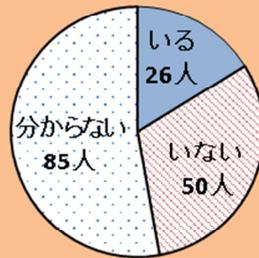
意味は知らなくても言葉は知っている人を含めると約8割の人がLGBTについて知っているようです。

LGBTを知っていますか②

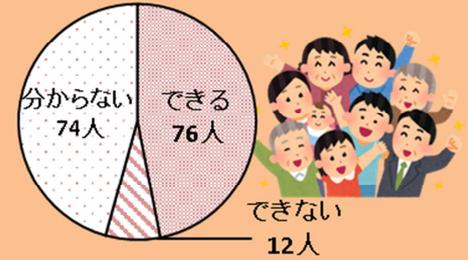
Q4 性的少数者は13人に1人(7.6%)との結果についてどう思いますか？



Q5 あなたの周りに性的少数者の方はいますか？



Q6 あなたの身近な方(家族、友人など)が性的少数者だった場合、これまでと変わりなく接することができますか。



アンケートに寄せられたさまざまなご意見をご紹介します。

誰もが自分らしく生きられる、受け入れられる社会であってほしいですね。

差別をなくすために

男でも女でも障がいを持っている人も健常者もだれもが暮らしやすく働きやすい社会に向けて、一人ひとりの意識を変えていくための啓発活動をもっと広く深くすすめていけたらと考えます。

差別なく接せられるか不安

自分では差別や嫌悪は少ないと思っているが、実際に身近な人に出てきたとき変わりなく接することができるか不安があります。

実体験

☆教育の果たす役割が大きいと思います。これからも教員研修等の講師を通じてSOGIについての考え方、多様性の大切さを伝えていきたいと思います。私は当事者ではないのでその点を除けば室井さんの話の9割を伝えています。成田市の小・中・高でも講演があれば救われる子どもがいますね。市民協働課から市教委へぜひ働きかけてください。まず、国際都市成田から発信しませんか。

☆職場のLGBTについて相談されるものの中々対応できない場面あり。9月講師のナイスチョイス。引き続き問題意識を持っていける場を提供していただければと思う。

SAZANAMI INFORMATION

さざなみインフォメーション

11月12日から25日は「女性に対する暴力をなくす運動」期間です

夫・パートナーからの暴力、性犯罪、売買春、セクシュアル・ハラスメント、ストーカー行為等女性に対する暴力は、女性の人権を著しく侵害するものであり、決して許されるものではありません。パートナーとは対等な関係であるべきです。でも、もし夫・パートナーからの暴力に悩んでいたら、ひとりで抱え込まず相談してください。



女性のための相談

毎週木曜日 専門の女性相談員によるカウンセリング
午前10時～正午・午後1時～午後4時(祝日を除く)
(予約制・成田市市民協働課 0476-20-1507へ)

女性の人権ホットライン

法務局職員または人権擁護委員による相談
11月12日(月)～16日(金): 午前8時30分～午後7時
11月17日(土)～18日(日): 午前10時～午後5時
電話: 0570-070-810

千葉県女性サポートセンター

365日24時間電話相談 043-206-8002
面接相談有 平日午前9時～午後5時(予約制)

男性電話相談

千葉県男女共同参画センターによる相談
火曜・水曜 午後4時～午後8時
(月曜祝日のとき翌日火曜は休み) 電話: 043-308-3421